

ここが聞きたい

# 一般質問



## 一般質問とは？

議員が市の仕事全般について、市長などに報告を求めたり、将来の方針等について質問することをいいます。  
一般質問は各定例会の本会議で行われます。

今定例会の一般質問は、16人の議員が登壇し、行政運営について市長及び教育委員長等の考えを質しました。

質問、答弁の要旨を掲載します。（文責は質問議員）

## 〔質問議員〕

- 1 佐藤 郁夫(市民クラブ)…P4
- 2 関 笙子(創政会)……P5
- 3 飯坂 一也(公明党)……P5
- 4 菅原 明(日本共産党)…P6

- 5 阿部加代子(公明党)……P6
- 6 遠藤 敏(創政会)……P7
- 7 加藤 清(爽志会)……P7
- 8 佐藤 克夫(創政会)……P8
- 9 藤田 慶則(創政会)……P8
- 10 高橋 政一(市民クラブ)…P9

- 11 佐藤 邦夫(市民クラブ)…P9
- 12 小野寺 重(創政会)……P10
- 13 及川 善男(日本共産党)…P10
- 14 千田美津子(日本共産党)…P11
- 15 千葉 悟郎(市民クラブ)…P11
- 16 今野 裕文(日本共産党)…P12



さとう いくお  
佐藤 郁夫  
(市民クラブ)

- 国際リニアコライダー(ILC)の誘致活動は
- ニホンジカ・ハクビシンの被害対策は

奥州市独自の取り組みとしてはILC特設サイトの設置、リーフレット、ポスターの作成、広報おうしゅうへの特集記事の掲載など市民理解の醸成を図っている。また、いわてILC加速器科学推進会議が中高生向けの副読本を作成し、誘致機運を高

めるなど、関係者一体となって誘致活動を展開している。  
【市長】 ILCの国内候補地一本化に向けた状況は、国内の研究者グループが公平な評価を行うため、両候補地に立地技術評価項目、社会基盤評価項目について資料の提出を求め、現在提出された資料を基に地質などの科学的な観点と、研究者などの居住環境などの社会基盤の観点から総合的な評価を行っている。学術的な評価結果は七月下旬に公表される見込みであるが、地質などは北上山地が優れていると思っている。東北ILC推進協議会を推進母体として北海道、新潟県を含め東北が一体となつて北上山地を国内候補地とするよう要望活動を展開している。

【質問】 国際リニアコライダー(ILC)国内候補地(北上山地・脊振山地)の一本化が今夏とされている。現時点での状況は。また、岩手県・奥州市の取り組み状況は。



ILC建設候補地を現地視察(北上山地)

【市長】 被害の実態は把握していない。ハクビシンは捕獲ワナ100基を購入し無償貸し出しをしている。ニホンジカは柵の設置か捕獲しかないと思うが、行政機関、農林業団体、猟友会で構成する奥州市鳥獣被害対策協議会で被害実態の把握と対策を検討していく。

【質問】 近年ニホンジカ・ハクビシンによる農作物の被害が多くなっているが被害の実態は。また被害対策として胆江農業共済組合では電気柵購入費の助成制度を創設したが、市の被害対策は。